




下心ありで外人さんと温泉旅行♪
に行ったら結果へタレな俺が逆に性的に食へられちゃうお話



ネットで外国人コスプレイヤーの女性と知り合った
日本に興味があると言っていたので
おもいきって温泉旅行に誘った

最初は迷っていたが必死に言いくるめて
何とか約束をして日本に来てくれる事になった

・・・どうやら下心には気づいてないようだ

「○○さんですか？」

「はい、初めましてミシエルさん
遥々日本まで来てくれてありがとうございます
疲れたでしょ？」

「結構遠くてへとへとですね……。
でもその分温泉楽しみです！」

「それはよかった、じゃあ行きましょう」



楽しそうだな、一切疑ってない

実は予約した温泉旅館は
客ごとに小屋を借りるタイプ

しかも男女でしか予約がとれない
ちなみに混浴！

従業員も当然そのつもりでいる
つまり

2人きりの時ならどこで何をしよう問題無し！
いくら声を出そうが

そういうプレイだと思って助けには来ない（たぶん）

俺も楽しみになってきたよミシエルさん



居間に通され従業員が居なくなり二人きり

「良い所ですね、ここからの景色もスゴイ綺麗です」

「そうですね・・・」



「・・・そのつ、予約したかいがありました、ハハハ」

「じゃあ温泉行きましょうか」

「えっ、あっはい・・・」



なにも出来ませんでした



(そもそも俺には無理だったんだろなあ・・・そんな度胸ねえもん・・・)

「美味しいですね！和食大好きです！」

「はは・・・美味しいですよね・・・」

ん～♡

「日本酒もすごく美味しいです！」

(普通にもてなしたただけだったなあ・・・)

それだけでも意味があつてよかったか・・・よかないか・・・うう)

「〇〇さんもお酒どーぞ」

「・・・あつ、ああすいません、酒呑めないんで遠慮しますね」



「ええ？私の酒が飲めにやいって言うんですか？」
「そういうわけじゃなくて、ほんとに苦手で……」



（ああもう思惑は外れるわ酔っ払い外国人に絡まれるわ
踏んだり蹴ったりだよ……泣きたい）



「それなら力づくで吞ませるだけですわっ！」
「えっ・・・うわわっ！」





「ちよ、ちよっと、えっ？えっ？」

『いいからいいから。。。んふる』

彼女は上に乗りながら口に日本酒を含んだ





「ふう、美味しいでしょ？」

「はい。・・・いろいろおいしかったですか」



「おや〜」

〇
〇

「こ、これはその」
「お酒飲んで元気になっちゃったんですね」

「それじゃあ・・・」

えい





「こういうの好きですか？」

(うおっ、これは・・・すごい)

「日本だと『スマタ』ですよ
お気に召したようで良かったです」

「あっあっ急に速くしたら」



「もう出ちゃったんですか？」
「ご、ごめん」

「むう、まだまだ気持ちよさそうな顔見たかったのに・・・」



「じゃあ次はですねえ・・・あっ
あの椅子に座ってください」

「う、うん」

(なんでだろ?)

「さっきから胸ばかり見えていますので
コレを使って・・・ね？」

・・・ゴクリ



(服着てても思ったけどやっぱ乳でけえ)
「じゃあいきますよ」



「あへえ・・・」

「うふふ、また良い顔してますね

それでは動かし・・・」

ズ
ズ
ウ
ウ
...

〃

ド
ク
ン



ド
キ
ン

。。。

〜



「まだ動かしてないんですけど」

「ご、ごめん、でも気持ちよすぎて……」

~~~~~  
……

「ぶーむ……」

~~~~~



「でもこのネパネパでこすれば更に気持ちよくなって
もっといっぱい出るのでは？」

「うぐっこれはヤバすぎるって！」

ズ
リ
ッ

ズ
リ
ッ

「アハッ、いっぱい出ましたね」



「んふっまだ射精してますね」

(ううまだ搾り取られてる……)

グ
リ
ッ

ド
グ
ッ
ド
グ
ッ

グ
リ
ッ

ド
グ
ッ

「こんなドブドブ出るの見ちゃったので私も興奮してきました

次は寝そべって下さい！ほらほら早く！」



「じゃあ挿れますよ」
「う、うん」

ふんふん
♡

ふう
♡

(初めて見た時は清楚って感じだったけど)
(今は獣みたいに興奮しまくってんな。。。)





ゴッ
.....

んっ
すっ
.....

ん
.....

(んっ...すっ...奥に届いちゃってますよ...)

ん
.....



「ちよ、ちよっと、まだ射精してるのに。。。うんぬん」
「もっともっとお射精してほしいですよお」

グッポ

はぁ♡

グッポ

はぁ♡

グッポ

グッポ



「すっごい気持ちよかったですよ
私たち相性良いのかもしれないね」

（。。。そういう事言われるとまた勃起しちゃうんだけど）

ガクガク

ビュ~~~~~

んんん

はあ~~~~♡

はあ~~~~♡

「おや？また元気になっちゃったんですか？
ではこのまま続けましょうかね♪」

その後5回くらい射精してから俺は気を失った

ガクガク

「あっ起きましたね、おはようございます」

「お、おはようございます・・・ううねむい・・・」
（元気だなあ・・・股間痛いし元気でないよ・・・）



（そーういや酔っぱらってたけど昨日の事とか覚えてんのかな）

「うふふ、それじゃお目覚ましに一緒に温泉入りましょう」

「い、一緒、いいんですか」



「だって混浴ですよ？」

(そうだけどそうじゃなくて！元氣出てきた！)

(おかしい・・・)

「身体洗ってあげますよ！」
と言ってくれたのでお願いして
まず頭を洗ってもらって
背中も洗ってもらったまでは普通だったのに



「それでは前もキレイキレイしますよ〜」
何でチンコまで洗う流れになっただよ!



「おっ・・・おねがいます・・・」
（・・・断る理由は無いけどさ! すごい恥ずかしい!）

(ああ、めつちや顔見てくる・・・絶対反応見て楽しんでるよ・・・)
(触り方も絶対わざとだし)



(うっ・・・田んぼ・・・)

グ
グ
グ
グ

♡

グ
グ

グ
グ



「もお、せっかく洗ったのにこんなに汚しちゃだめですよ」
「だ、だって・・・」

「だってじゃありません、ほらもう一回キレイにしますよ」
(永久にキレイにならないと思います・・・)

もみ♡

ブトォー...

その後も身体を洗うふりをしてイジられ
彼女に見られながら何度も無様に射精してしまっ



「あったかいですねー」

「・・・はい」

「どうしましたか？」



「どうしたって、だってその・・・」

(柔らかいし気持ちいいし嬉しいけど・・・)
「どうしてこんな密着してるんですか？」

ガッ
チー

「混浴ですし」

「いえ全くわかりません・・・」

「混浴はこういう所をする場所って同人誌で見ましたよ？」

「・・・確かにそういう風な誤解を与えますけど」

「でも○○さんも元気になってますよね？」

「うん」



「ほらほら、あとちょっとで挿れちゃうわね」

「・・・」



「我慢してたのに・・・挑発するからっ・・・」

「んっ・・・挑発にのってくれて・・・感謝しますよ・・・」



「あと、挑発ついでに言いますとね」

「昨日ですが、あれ別に酔ってなかったですよ」

「……え!?!」

「勢いではなく最初から犯しちゃおうと思ってました」

「!?!?!?!」

「だってそんな、というかわざわざそんな回りくどい事を何で……」

「可愛かったのだからかっちゃんいました、うふふ」

「でも好きなのはホントですよ、親切ですごく優しいですし」

「……ポソッ (だから中で出していいですよ)」





「もっと聞かせますよね？」

(うう、干からびて死ぬ……)



ドク

ドク

「ふふ、そっやあってがんばってくれる所とかかわいらいですよ」



「きもちよかったですねー」

(なんだろう・・・すごく良かったけど、この何とも言えない気持ち)



「どうしました？」

「かわいいって言われたのがちよっと・・・」

「ああ、そういうつもりでは無いですよ

○○さんはウブでかわいいです」

(またかわいいと言われた・・・)

「私の街だとガツガツした男ばかりだったのだから、あなたのような『紳士』は好みだったんですよ」

(うう・・・最初色々と企んでたから胸が痛い)



(・・・というか、実は最初の思惑とかバレててわざとこういう事言っていたり？いやさすがにそれはないか)

「うふふ、私には良いですけど」

「女性にはあんまりそういう打算を見せちゃダメですよ」

「・・・はい」

「じゃあお部屋帰ったら続きしましょうね」

「はい・・・はい!？」



「夕飯にはまだ時間あります、有効に使わなきゃですよ」



「はあ・・はあ・・せっかくお風呂に入ったのに
お互いもう汗でびちゃびちゃですね」





「はあはあ・・・やっぱり夢中になってる○○さんはかわいいです」

「うっ・・・からかうのはやめてください」

「うふふ、次も上手にできたら考えますね」

ズシュー

ゴッ

トッ
トッ

ドッ

おっ

結局夕飯の時刻を過ぎてても行為を続けて気づいたら隣の部屋に夕食が用意されていた我々の声とか色々聞かれたかも・・・



(うおおおおおキャラのまんまじゃん・・・)

「衣装持ってきちゃいましたよ、似合いますかね？」

「・・・はっ、すごく良いです！マジで！」

「嬉しそうで何よりですよ」



「じゃあこの格好のままエッチしましょっか」

「.....あっ、でも汚れちゃうし.....」

「そんなおつきささせて言うセリフじゃないですね」

「うっ」

ぴんぽん♡

「これは手作りなので汚しても大丈夫ですよ」

「遠慮しないで来てください♪」



ズ
ズ
ズ
...

ん...♡

「はあ...幸せ...」

「良かったです、でもあんまり興奮されると

このキャラに○○さんをとられちゃったようで

ヤキモチ焼いちゃいますね〜」





「えっ、いえそんなことは無いよ！
ミシエルさんすごく綺麗でエロいし、ああ違う！いやそうだけど」
「えっ」
「あっすいませんもう出そう！」

(私とした事が・・・一緒にイッちゃいました)
(綺麗と言われて嬉しかったのでしょぅうか?)

っっ

~~~~~

グッッッ

~~~~~

(・・・これは恥ずかしくて言えませぬね)



スヤア。。。

「起きる気配は無いな」

昨日のエッチの後

寝る前にちよつとアニメを見るって言ってたもんな

この様子だとちよつとじゃなかったようだけど

ズズズ...

「それにしてもすごい格好で寝てる」

・・・エッチな事しても起きないかな？

脱がす



ふむ・・・余計ムラムラしてきちゃった

こするだけだから・・・ちよっとこすって出すだけだから



ズリユ

ヌ

ニ

ニ



お尻

ん...

やべっさきつちよが
あっあっ...このままじゃ挿いっちゃう...

お尻...



ド
グ
ド

グ
ド
グ
ド
グ
ド

ド
ク
ッ

ん?...



「ふうスツキリした」

「寝ている間に好き勝手してくれましたね？」

「・・・あっ」

パニパニ...

「しっかり中出しまでして自分だけ楽しんで・・・」

「ひえっ」





「あの。。機嫌はいかがでしょうか。。。」

「さっきの事はこのくらいで許してあげますよ」

「よかった。。。」



「ああでも、今日で最後なんだよなあ・・・」



♡♡♡♡

ゴタッ

さす
さす

「最後ですし本気で子作りでもしましょうか？」

「!?!」

「旅館の人から聞きましたよ
本来そういう人たちが泊まるのでしょ？」

「そ、そうっすけど。。。」

(なんて言いましたけどちゃんとお薬飲んだんですよ)

(こういう事言つとすぐ赤面する所とかかわいいんですねー♪)



「あ、あれ?.....」

(いつもより

デカくなってる気がしますね?)

「あ、あの...さっきのは.....」



(うぐう... やっぱり気のせいじゃなく)
(今までより大きくて硬いです...)

ガクガク

ククク

キキキ...

ウ...



いーいーいー

♡

いーいー

いーいー

いーいー

いーいー

いーいー



「はあ。。はあ。。朝から元気ですね」

「チエツクアウトまでまだ時間あるし。。。。あともう一回」

「さっきも同じこと言っていましたね」

「そ、そうだったけ？」

~~~~~♡

ズボーン



「私が帰ったあとどうするんですか」

「えーと……俺は予定なんて無いけど……  
というか、その……やっぱ、すぐかえっちゃうの……?」

えいっ



「そんな顔されちゃうとやっぱりまだ帰れないですよね♪」

「……?」

「実は朝のうちにあと一週間泊まりたいと伝えておきました  
もちろん二人で」

「!」

「なので一緒にお泊りしましょうね」

「そのあとの事は……まあその時考えましょう♪」

おしま



































































































































































